

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3620739号

(P3620739)

(45) 発行日 平成17年2月16日(2005.2.16)

(24) 登録日 平成16年11月26日(2004.11.26)

(51) Int.Cl.⁷

F I

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10

G 1 1 B 20/10 3 O 1 Z

G 1 1 B 27/00

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/34

G 1 1 B 27/34 P

H O 4 N 5/92

H O 4 N 5/92 H

請求項の数 2 (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2002-253128 (P2002-253128)

(22) 出願日 平成14年8月30日(2002.8.30)

(62) 分割の表示 特願2001-131806 (P2001-131806)
の分割

原出願日 平成9年11月21日(1997.11.21)

(65) 公開番号 特開2003-132641 (P2003-132641A)

(43) 公開日 平成15年5月9日(2003.5.9)

審査請求日 平成14年9月30日(2002.9.30)

(73) 特許権者 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地

(72) 発明者 田中 美昭

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

(72) 発明者 植野 昭治

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

(72) 発明者 淵上 徳彦

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

審査官 齋藤 哲

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクであって、前記主信号の記録領域に、

オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及びその表示の種類を示すデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むA M G I管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造(オーディオ・タイトルセット)が記録され、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むV M G I管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造(ビデオ・タイトルセット)が記録されると共に、前記A M G I管理エリアには前記第1のオーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する第2の情報が記録されるディスクを再生するディスク再生方法であって、

10

20

前記ディスクから少なくとも第 1 のオーディオパック及び文字表示パックを再生する再生ステップと、

前記再生ステップにより再生された文字表示パックからオーディオデータに関する文字情報をデコードする第 1 のデコードのステップと、

前記再生ステップにより再生された文字表示パックから表示時間制御データ及びその表示の種類を示すデータをデコードする第 2 のデコードのステップと、

前記第 1 のデコードのステップによりデコードされた文字情報を前記第 2 のデコードのステップによりデコードされた表示時間制御データ及びその表示の種類を示すデータに基づいて表示するステップと、

前記ディスクから前記 A M G I 管理エリアの第 2 の情報に基づき前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御するステップと、
からなるディスク再生方法。

10

【請求項 2】

補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクの前記主信号の記録領域に、

オーディオデータを含む第 1 のオーディオパックと、

前記第 1 のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及びその表示の種類を示すデータを含む文字表示パックと、

前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む A M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し、

20

前記第 1 のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第 1 のファイル構造（オーディオ・タイトルセット）を記録し、

さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第 2 のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む V M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第 2 のオーディオパックとを含むタイトルからなる第 2 のファイル構造（ビデオ・タイトルセット）を記録すると共に、

前記 A M G I 管理エリアには前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する第 1 の情報に加え前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する第 2 の情報を記録するステップと、

30

請求項 1 に記載の再生方法で再生するステップと、

からなるオーディオ信号の記録再生方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、オーディオ信号の曲名などを示す文字情報その他を記録したディスクからそれらの記録した情報を表示するためのディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法に関する。

【0002】

40

【従来の技術】

従来、音楽ソースのオーディオ信号の曲名などの文字情報やその他の制御情報を記録した媒体としては C D（コンパクト・ディスク）が知られている。従来の C D では、文字情報を記録する場合、P、Q、R、W、S、T、U、V、W の 8 ビットのサブコードの内、R から W までの 6 ビットのチャンネルを利用して記録している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、C D では音楽ソースの内容を示す文字情報その他がディスク上に散在して配置されて記録されているので、例えば再生中の音楽ソースに追従してかつ瞬時に変化させながら表示することが困難であり、したがって、再生中の音楽ソース（A）に対して文

50

字(V)をA-V効果的に表示することができないという問題点がある。

【0004】

ところで、DVD(デジタル・バーサタイル・ディスク)-ビデオディスクでは、映画などの動画の字幕スーパーなどを記録する場合には連続的に配置して記録することが行われる。しかしながら、DVDに対して音楽ソースなどのオーディオデータを主として記録するDVDオーディオディスクを考えると、この方法ではオーディオデータの割り当てが減少するという問題点がある。

【0005】

本発明は上記の問題点に鑑み、音楽ソースなどのオーディオデータや、その内容を示す文字情報を記録したディスクからそれらの記録した情報を表示することができるディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するために、以下の手段よりなる。

すなわち、請求項1に係る発明は、補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクであって、前記主信号の記録領域に、オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及びその表示の種類を示すデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むAMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造(オーディオ-タイトルセット)が記録され、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むVMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造(ビデオ-タイトルセット)が記録されると共に、前記AMGI管理エリアには前記第1のオーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する第2の情報が記録されるディスクを再生するディスク再生方法であって、前記ディスクから少なくとも第1のオーディオパック及び文字表示パックを再生する再生ステップと、前記再生ステップにより再生された文字表示パックからオーディオデータに関する文字情報をデコードする第1のデコードのステップと、前記再生ステップにより再生された文字表示パックから表示時間制御データ及びその表示の種類を示すデータをデコードする第2のデコードのステップと、前記第1のデコードのステップによりデコードされた文字情報を前記第2のデコードのステップによりデコードされた表示時間制御データ及びその表示の種類を示すデータに基づいて表示するステップと、前記ディスクから前記AMGI管理エリアの第2の情報に基づき前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御するステップと、からなるディスク再生方法である。

また、請求項2に係る発明は、補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクの前記主信号の記録領域に、オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及びその表示の種類を示すデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むAMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造(オーディオ-タイトルセット)を記録し、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むVMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造(ビデオ-タイトルセット)を記録すると共に、前記AMGI管理エリアには前記第1のオーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制

10

20

30

40

50

御する第 2 の情報を記録するステップと、請求項 1 に記載の再生方法で再生するステップと、からなるオーディオ信号の記録再生方法である。

【 0 0 0 7 】

【 発明の実施の形態 】

以下、図 1 ~ 図 1 8 を参照して本発明の第 1 の実施の形態を説明する。図 1 は本発明に適用されるオーディオ信号のエンコード装置の一実施形態を示すブロック図、図 2 は図 1 の信号処理回路を詳細に示すブロック図である。なお、各実施の形態では所定規格の例として、DVD ビデオ規格を例としてあげて説明する。

【 0 0 0 8 】

図 1 において、アナログオーディオ信号 A は A / D コンバータ 3 1 により十分高いサンプリング周波数（サンプリング周期 t ）、例えば 1 9 2 k H z でサンプリングされて例えば 2 4 ビットの高分解能の PCM 信号に変換され、高分解能の曲線 に対応するデータ列 $x b 1, x 1, x a 1, x 2, x b 2, x 3, x a 2, \dots, x b i, x 2 i - 1, x a i, x 2 i, \dots$

に変換される。このデータ列（ $x b i, x 2 i - 1, x a i, x 2 i$ ）は図 2 に詳しく示す信号処理回路 3 2 及びメモリ 3 3 によりエンコードされ、次いで DVD フォーマット化部 3 4 に印加される。

【 0 0 0 9 】

図 2 を参照して信号処理回路 3 2 の構成を詳しく説明する。まず、 $1 / 2$ の帯域を通過させるローパスフィルタ 3 6、例えば FIR フィルタにより、高分解能の曲線 に対応するデータ列（ $x b i, x 2 i - 1, x a i, x 2 i$ ）から、帯域制限された低分解能の曲線 に対応するデータ列

$x c 1, *, *, *, x c 2, *, *, *, x c 3, *, *, *, \dots, x c i, *, *, *, \dots$

を得、次にこのデータ列の内、データ「*」を間引き回路 3 7 により間引くことによりデータ列

$x c 1, x c 2, x c 3, \dots, x c i, \dots$

を生成する。ここで、データ列 $x c i$ は A / D コンバータ 3 1 により A / D 変換されたデジタルデータを帯域制限してサンプリング周波数を $1 / 4$ に低減したデータ列となっている。

【 0 0 1 0 】

また、データ列（ $x b i, x 2 i - 1, x a i, x 2 i$ ）の内、データ $x i$ を間引き回路 3 8 により間引くことによりデータ列

$x b 1, x a 1, x b 2, x a 2, \dots, x b i, x a i, \dots$

を生成する。

【 0 0 1 1 】

そして、これらのデータ列 $x c i$ 、 $x b i$ 、 $x a i$ に基づいて、差分計算器として作用する加算器 3 9 により差分

$x b i - x c i = 1 i$

$x a i - x c i = 2 i$

を演算する。ここで、差分データ $1 i$ 、 $2 i$ は例えば 2 4 ビット又はそれ以下であり、また、ビット数は固定でも可変でもよい。

【 0 0 1 2 】

アロケーション回路 4 0 はデータ列 $x c i$ 及び差分データ $1 i$ 、 $2 i$ をユーザデータ（図 4 参照）にパッキングし（1 パケット = 2 0 3 4 バイト）、そのユーザデータを DVD フォーマット化部 3 4 に出力する。また、1 6 ビットの場合には高分解能のサンプリング周波数のままのデータ列をユーザデータにパッキングし、そのユーザデータを DVD フォーマット化部 3 4 に出力するようにしてもよい。

【 0 0 1 3 】

また、ビデオ信号 V は A / D 変換器 3 1 V によりデジタル信号に変換され、次いでこのデ

デジタルビデオ信号がVエンコーダ32VによりMPEGフォーマットにエンコードされ、次いで図4に示すユーザデータにパッキングされてDVDフォーマット化部34に印加される。そして、DVDフォーマット化部34は図3～図11に示すようなフォーマットにパッキングする。このDVDフォーマット化部34によりフォーマット化されたデータは、変調回路35によりディスクに応じた変調方式で変調され、この変調データに基づいてディスクが製造される。

【0014】

図3は本発明に適用されるディスクのフォーマットを示す説明図、図4は図3のオーディオパックとビデオパックのフォーマットを詳しく示す説明図、図5は図3のコントロール(CONT)パックのフォーマットを詳しく示す説明図、図6は図5のPCIデータを詳しく示す説明図、図7は図5のデータサーチ情報(DSI)を詳しく示す説明図、図8は図3のリアルタイム情報データ(D)パックのフォーマットを詳しく示す説明図、図9は図8のオーディオキャラクタディスプレイ(ACD)エリアのフォーマットを詳しく示す説明図、図10は図9のネームスペース情報により表示される例を示す説明図、図11は図3のリアルタイム情報データ(D)パックの他のフォーマットを詳しく示す説明図である。また、図21は本発明に係るDVD-Avdディスクのデータ構造を説明する図、図22は本発明に係るDVDオーディオディスクのデータ構造を説明する図、図23は従来のDVDのディスク構造を説明する図である。

【0015】

また、図12は本発明に適用されるディスク再生装置の一実施形態としてDVD再生装置を示すブロック図、図13は図12のDVD再生装置を機能的に示すブロック図、図14及び図15はA-V-D同期再生処理を説明するためのフローチャート、図16は図12及び図13の文字表示回路を詳細に示すブロック図、図17は図13のDVD再生装置の変形例を示すブロック図、図18は図13のDVD再生装置の他の変形例を示すブロック図である。

【0016】

本発明に適用されるディスクのフォーマットは、大別して図3(a)に示すDVD-ビデオ部と図3(b)に示すDVD-オーディオ部により構成されている。DVD-ビデオ部のフォーマットは先頭のビデオマネージャ(VMG)と、それに続く複数のビデオタイトルセット(VTS)の各エリアにより構成され、他方、DVD-オーディオ部のフォーマットはこれに対応してオーディオマネージャ(AMG)と、AMGに続く複数のオーディオタイトルセット(ATS)の各エリアにより構成されている。

【0017】

VTSの各々は先頭のVTSインフォメーション(VTSI)と、それに続く1以上のビデオコンテンツブロックセット(VCBS)と最後のVTSIにより構成され、他方、ATSの各々はこれに対応して先頭のATSインフォメーション(ATSI)と、それに続く1以上のオーディオコンテンツブロックセット(ACBS)と最後のATSIにより構成されている。ATSIには、ACBS内の各曲の演奏時間が実時間でセットされる。

【0018】

VCBSの各々は複数のVCBにより構成され、他方、ACBSの各々は複数のACBにより構成されている。VCBの各々はビデオの1タイトル(Title)分であり、ACBの各々はこれに対応してオーディオの1アルバム(Album)分である。VCBの各々(1タイトル)は複数のチャプタ(Chapter)により構成され、他方、ACBの各々(1アルバム)はこれに対応して複数のトラック(Track)により構成されている。チャプタはパートオブタイトル(PTT)を含み、トラックはパートオブタイトル(PTT)を含む。

【0019】

チャプタの各々は複数のセル(CELL)により構成され、他方、トラックの各々はこれに対応して複数のインデックスにより構成されている。セルの各々は複数のVCBユニット(VCBU)により構成され、他方、インデックス(Index)の各々はこれに対応

10

20

30

40

50

して複数の仮想 A C B (A C B) により構成されている。V C B ユニットと A C B の各々は、複数のパックにより構成され、1 パックは 2 0 4 8 バイトで構成されている。

【 0 0 2 0 】

V C B ユニットの各々は、コントロールパック（以下、C O N T パック）を先頭として、0 . 4 ~ 1 . 0 秒分の任意の数のビデオ（V）パック、オーディオ（A）パック及びサブピクチャ（S P）パックにより構成されている。他方、A C B の各々は、任意の数の A パックと 1 . 0 秒以上の間隔のリアルタイム情報データ（D）パックにより構成されている。すなわち、A C B は仮想の単位であり、実際には境界を示すパックはない。

【 0 0 2 1 】

C O N T パックには図 5 ~ 図 7 に詳しく示すように、後続の V パックなどを制御する情報が配置される。また、図 4 に示すように A パックにはオーディオデータが配置され、V パックにはビデオデータの外、オーディオデータ以外の例えばクローズドキャプション（C C）データが配置される。また、図 8 に示すように D パックには、A パック内のオーディオデータに関する文字情報とその表示時間が配置される。

10

【 0 0 2 2 】

隣接する A パック A 1、A 2 は、オーディオ信号がお互いに関連するように配置され、例えばステレオの場合には L チャネルパックと R チャネルパックが隣接して配置される。また、5 / 6 / 8 チャネルのマルチチャネルの場合にも同様に隣接して配置される。また、オーディオ信号の再生時に文字を表示する場合にはその A パックと D パックが隣接して配置され、更にオーディオ信号の再生時に映像を表示する場合にはその V パック（静止画）と A パックが隣接して配置される。

20

【 0 0 2 3 】

A パック、V パック及び D パックは、図 4 に示すように 2 0 3 4 バイトのユーザデータ（A データ、V データ）に対して 4 バイトのパックスタート情報と、6 バイトの S C R（S y s t e m C l o c k R e f e r e n c e：システム時刻基準参照値）情報と、3 バイトの M u x r a t e 情報と 1 バイトのスタッフィングの合計 1 4 バイトのパックヘッダが付加されて構成されている（1 パック = 合計 2 0 4 8 バイト）。この場合、タイムスタンプである S C R 情報を、A C B ユニット内の先頭パックでは「1」として同一アルバム内で連続とすることにより同一アルバム内の A パックの時間を管理することができる。

【 0 0 2 4 】

30

次に図 5 ~ 図 7 を参照して C O N T パックの構成について詳しく説明する。この C O N T パックは D V D ビデオ規格ではナビゲーション・パック、通称ナビ（N V）パックと呼ばれており、1 4 バイトのパックヘッダと、2 4 バイトのシステムヘッダと、P C I（プレゼンテーション・コントロール・インフォメーション）パケットと D S I（データ・サーチ・インフォメーション）パケットにより構成されている。P C I は再生制御情報と呼ばれており、この P C I パケットは 6 バイトのパケットヘッダと、1 バイトのサブストリーム I D と図 6 に詳しく示すような 9 7 9 バイトの P C I データにより構成され（合計 9 8 6 バイト）、また、D S I パケットは 6 バイトのパケットヘッダと、1 バイトのサブストリーム I D と図 7 に詳しく示すような 1 0 1 7 バイトの D S I データにより構成されている（合計 1 0 2 4 バイト）。

40

【 0 0 2 5 】

P C I データは V O B U の再生を制御するナビゲーション・データであり、図 6 に詳しく示すように 6 0 バイトの P C I 一般情報（P C I G I）と、3 6 バイトの非シームレス用アングル情報（N S M L A G L I）と、6 9 4 バイトのハイライト情報（H L I）と 1 8 9 バイトの記録情報（R E C I）の 4 つの情報により構成されている。ここで、図 3（a）における V C B U は、D V D ビデオ規格における V O B U と同一である。

【 0 0 2 6 】

図 5 に示したデータサーチ情報（D S I）はデータをサーチして、V O B U のシームレス再生を実行するためのナビゲーションデータであり、図 7 に詳しく示すように

・ 3 2 バイトの D S I 一般情報（D S I G I）と、

50

- ・ 148バイトのシームレス再生情報 (SML PBI) と、
- ・ 54バイトのシームレス用アングル情報 (SML AGLI) と、
- ・ 168バイトのVOBUサーチ情報 (VOBU SRI) と、
- ・ 144バイトの同期情報 (SYNCI) と、
- ・ 471バイトの保留エリアの合計1017バイトにより構成されている。

【0027】

これに対し、Dパックは図8に示すように、14バイトのパックヘッダと、24バイトのシステムヘッダと、1003バイトのACD (オーディオキャラクターアルタイム情報データ) パケットと、1007バイトのSEC (サウンドエフェクトコントロール) パケットにより構成されている。ACDパケットは6バイトのパケットヘッダと、1バイトのサブストリームIDと、図9に詳しく示すような676バイトのACD (オーディオキャラクターディスプレイ) 情報と、294バイトのオーディオ再生制御情報 + 26バイトの保留エリアの合計320バイトにより構成されている。SECパケットは同じく6バイトのパケットヘッダ及び1バイトのサブストリームIDと、図11に詳しく示すような1000バイトのSEC (サウンドエフェクトコントロール情報) データにより構成されている。

10

【0028】

ここで、図9 (A) 及び図11 (A) は第1の例を示し、図9 (B) 及び図11 (B) は第2の例を示している。第1の例における676バイトのACD情報エリアは、図9 (A) に詳しく示すように48バイトのジェネラル情報エリアと、各々294バイトの文字「1」、「2」の情報エリアと、16バイトの表示時間制御データエリアと24バイトの保留エリアにより構成されている。

20

【0029】

文字「1」、「2」の各情報エリアは93バイトのネームスペースエリアと、各々93バイトの2つのフリースペースエリアと15バイトのデータポインタエリアにより構成されている。ネームスペースエリアには例えば図10に示すような楽曲名を表示するために31バイトの1/4角のヘッダ用文字データと、62バイトの全角、半角の本文用文字データが配置される。16バイトの表示時間制御データエリアには、文字の表示開始時間と終了時間としてAパックのアドレス (タイミング時間) が共に8バイトで配置される。

【0030】

48バイトのジェネラル情報は、例えば16バイトのサービスレベル情報と、12バイトの言語コード情報と、6バイトの文字セットコード情報と、6バイトの表示アイテム情報と、2バイトの「前のACD情報との相違」情報と、6バイトの保留情報により構成される。16バイトのサービスレベル情報は、表示サイズ、表示の種類、オーディオ/ビデオ/SPの区別、ストリームなどを示し、また、文字はマンガトリー、ビットマップはオブションである。6バイトの文字セットコード情報はビデオファイルと同様に文字「1」「2」の言語をそれぞれ2バイトで示し、1ファイル中最大8言語分を示す。英語はマンガトリーである。

30

【0031】

6バイトの文字セットコード情報は、言語コードに対応した文字コードを最大15個持つことが可能であり、文字「1」「2」の言語の有無と種類を1バイトで示す。コード例を以下に示す。

40

1. ISO 646
2. ISO 8859 - 1
3. MS - JIS

6バイトの表示アイテム情報は、図9に示すフリースペース「1」「2」、データポインタの有無、IDを示す。ネームスペースはマンガトリーであり、アルバムネーム、ミュージックネーム、アーティストネームは必ず記述する。

【0032】

図8に示す1000バイトのSEC (サウンドエフェクトコントロール) データの内容は任意であり、例えば各々25バイトの40種類分のサウンドエフェクトコントロール情報

50

により構成される。１種類分のオーディオ再生制御情報エリアには２０バイトのグラフィックイコライザ情報と、３バイトのレベルバランス情報と２バイトの残響付加情報が配置され、この情報はユーザにより選択されてオーディオ信号の音質が制御される。これらのオーディオ再生制御情報は、Ａバックに配置されている楽曲をユーザが再生する場合に例えばその楽曲のジャンル（クラシック、ジャズ、ロック、ＢＧＭ）に応じて、また、同一ジャンルであってもその楽曲の演奏状態、録音状態、雰囲気などに応じて再生時の音質が最も良くなるようにいわゆるプロのミキサが推奨するデータである。

【００３３】

ＡＣＤとＳＥＣは同じバックに記録する代わりに、別々のバックに分離して記録するようにしてもよい。すなわち、第１の実施形態の第２の例として、図１１（Ａ）に示すように 10
ＡＣＤのみのパケットを有するバックと、図１１（Ｂ）に示すようにＳＥＣのみのパケットを有するバックを設けてもよい。この場合、パケットの長さは、２０１０バイトの範囲で自由に設定される。パケットヘッダはＡＣＢの最初のものであるには１７バイトであり、それ以外のものであるには１４バイトである。プライベートヘッダはサブストリームＩＤ（１バイト）、バック種類ＩＤであるＲＴＩ－ＩＮＦＯフラグ（１バイト）など含む最大１２バイトで構成される。リアルタイム情報（１９７９バイト）は、バック種類ＩＤであるＲＴＩ－ＩＮＦＯフラグが「００００ｂ」の場合にＡＣＤが記録され、「０００１ｂ」の場合にＳＥＣが記録される。

【００３４】

以上のバックにより、図２１、図２２に示すような本発明に適用されるデータ構造のディスクが構成される。ところで、図２３に示すようにＤＶＤビデオディスクのデータフォーマットはビデオタイトルセット（ＶＴＳ）のみを含み、また、図２２に示すようにＤＶＤ 20
オーディオディスクのデータフォーマットはオーディオタイトルセット（ＡＴＳ）のみを含む。そして、図２１に示すディスクはＤＶＤ－Ａｖｄ（オーディオ－ＡＶデータ）ディスクと呼ばれ、ビデオタイトルセット（ＶＴＳ）とオーディオタイトルセット（ＡＴＳ）の両方を含む。また、このＡＴＳはオーディオマネージャ（ＡＭＧ）と複数のＡＴＳ＜１＞、ＡＴＳ＜２＞を含む。

【００３５】

したがって、図２２に示すフォーマットによれば、オーディオデータを有するオーディオ専用のタイトルに対して、オーディオデータを含む第１のバックと、前記第１のバック内 30
の前記オーディオデータに関するサウンド制御情報とその適用時間を制御する適用時間制御データを含む第２のバックと、前記第１のバックの再生を管理する情報を含むＡＭＧＩ管理エリアとを配置したデータ構造を有するＤＶＤオーディオディスクが実現される。

【００３６】

また、図２１に示すフォーマットによれば、オーディオデータを有するオーディオ専用のタイトルに対して、オーディオデータを含む第１のバックと、前記第１のバック内の前記 40
オーディオデータに関するサウンド制御情報とその適用時間を制御する適用時間制御データを含む第２のバックと、前記第１のバックの再生を管理する情報を含むＡＭＧＩ管理エリアとを配置するとともに、前記オーディオデータ及びビデオデータを有するタイトルに対して、オーディオデータを含む第１のバックと、ビデオデータを含む第３のバックと、前記第１、第３のバックの再生を制御する情報を含むＤＶＤビデオ規格のナビゲーションバックと、前記第１、第３のバックの再生を管理する情報を含むＶＭＧＩ管理エリアを配置したデータ構造を有するＤＶＤ－Ａｖｄディスクが実現される。

【００３７】

次に図２４を参照して上記の３種類のディスクを再生する方法について説明する。方法 4
４によれば、オーディオ専用のタイトルである図２１のＡＴＳ＜２＞と、図２２のＡＴＳ＜１＞及びＡＴＳ＜２＞は、ＡＭＧＩによりＡＴＳＩを介してＡＣＢＳにアクセスすることにより再生することができる。なお、方法１、２、３はビデオタイトルをアクセスする際にＡＭＧＩを用いることを示している。したがって、本発明の上記の２種類のオーディオディスクは、ＤＶＤのファミリーとしてＤＶＤと互換性を保って再生す 50

ることができる。

【0038】

次に、図12を参照して本発明に適用されるDVD再生装置について説明する。ディスク1には、上記構造のデータがEFM変調されてピットの形式で記録されている。操作部18やリモコン装置19により曲目選択、再生、早送り、停止操作などが行われると、制御部23はその操作に応じてドライブ装置2と再生装置17を制御し、再生時にはディスク1に記録されたピットデータがドライブ装置2により読み取られた後、EFM復調される。

【0039】

再生装置17では、この信号がCONTパック検出部3と、Aパック及びDパック検出部9に送られる。CONTパック検出部3はこの再生データ中のCONTパックを検出して制御パラメータをパラメータ部8、14に設定するとともに、CONTパックにより制御されるVパックをVパックバッファ4に順次書き込む。Vパックバッファ4に書き込まれたVパック内のユーザデータ（ビデオ信号、サブピクチャ情報）は、バッファ取り出し部5によりVパック内のSCR（図4参照）に基づいてパック順に、また、CONTパック内のPTSに基づいて出力時刻順に取り出され、次いで画像変換部6、D/A変換部7、ビデオ出力端子15、15'を介してアナログビデオ信号として出力される。これらのブロック3～8はビデオ処理部17Vを構成し、このビデオ処理部17Vは制御部23の制御に基づいて内部電源スイッチ制御部30が電源スイッチSWをオンにしている場合に動作する。

【0040】

また、Aパック及びDパック検出部9は、再生データ中のAパックとDパックを検出してA及びDパックバッファ10に順次書き込む。A及びDパックバッファ10に書き込まれたAパック内のユーザデータ（オーディオ信号）は、取り出し部11によりSCRに基づいてパック順に、また、TOC情報内のオーディオサーチデータなどに基づいて指示されたパックから順に取り出され、次いでPCM変換部12、D/A変換部13、オーディオ出力端子16を介してアナログオーディオ信号として出力される。

【0041】

また、Dパック中の表示用データ（図8、図9に示すオーディオキャラクタディスプレイ情報ACD）は表示信号生成部20に送られて表示信号が生成され、この表示信号は表示信号出力端子22を介して出力されたり、内蔵の文字表示部21に出力される。

【0042】

図13は図12に示す構成を機能的に示すブロック図である。再生手段2は図12に示すドライブ装置2に対応し、再生信号処理分離手段A・D（9、10、11、14）はAパック及びDパック検出部9、A及びDパックバッファ10、取り出し部11及びパラメータ部14に対応し、オーディオ信号出力手段（12、13）はPCM変換部12及びD/A変換部13に対応している。また、文字情報出力手段20は表示信号生成部20に対応し、表示手段21は文字表示部21に対応している。また、再生信号処理分離手段V（3、4、5、8）はCONTパック検出部3、Vパックバッファ4、取り出し部5及びパラメータ部8に対応し、ビデオ信号出力手段及びサブピクチャ情報手段（6、7）は画像変換部6及びD/A変換部7に対応している。制御手段23は制御部23に対応している。

【0043】

図13において、制御手段23は操作部18やリモコン装置19から目的の楽曲を再生するためのコマンド信号が送られてくると、その再生コマンドに応じたアドレス制御情報信号を再生手段2に送ることによりディスク1から目的の楽曲を再生する。再生信号処理分離手段A・Dは再生データをオーディオ信号と文字情報に分離してオーディオ信号をオーディオ信号出力手段（12、13）に送り、文字情報を文字情報出力手段20に送る。再生信号処理分離手段Vは再生データをCONT情報とビデオ信号及びサブピクチャ情報に分離してCONT情報を制御手段23に送り、ビデオ信号とサブピクチャ情報をそれぞれビデオ信号手段とサブピクチャ情報手段（6、7）に送る。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 4 】

また、A M G I（オーディオマネージャインフォメーション）や、A T S I（オーディオタイトルセットインフォメーション）の所定エリアに対してT O C情報を追加して記録し（T O C情報はD V DオーディオではS A P Pと呼ばれることもある）、再生装置がこのT O C情報にアクセスしてT O C情報記憶部1 4 Aを構成するメモリに記憶して曲の頭出しを行うことができる。このT O C情報としては、C Dのリードインエリアに記録されているものを用いることができる。

【 0 0 4 5 】

そして、このT O C情報は再生開始時に読み取られてT O C情報記憶部1 4 Aに記憶され、曲又は楽章の頭出し再生が指定されると、このT O C情報記憶部1 4 Aを参照してディスク1にアクセスする。なお、このT O C情報はまた、図1 3に示すようにディスク1の最内周部のリードインエリア（図示T O C領域1 a）に追加して記録し、再生開始時にはT O C検出手段2 4がこのT O C領域1 aを独立してアクセスしてT O C情報記憶部1 4 Aに記憶するようにしてもよい。

10

【 0 0 4 6 】

次に、図1 4、図1 5を参照してT O C情報やサーチ情報などの再生制御情報を用いたA - V - D同期再生処理を説明する。図1 4において例えば曲又は楽章の頭出し再生が指定されると、その指定位置に対応するT O C情報を参照し（ステップS 1）、次いでそのT O C情報に基づいてセルとインデックスの場所を計算する（ステップS 2）。次いでその場所をサーチし（ステップS 3）、確認すると図1 5に詳しく示すようなAパック、Vパック及びDパックの同期再生を行う（ステップS 4 S 5）。

20

【 0 0 4 7 】

図1 5において、C O N Tパックを再生し（ステップS 1 1）、次いでAパックとVパック内の時刻情報が同一時刻か否かをチェックする（ステップS 1 3）。そして、同一時刻でない場合にはC O N Tパックを±1パック分だけ調整し（ステップS 1 4）、次いでステップS 1 1に戻ってそのC O N Tパックを再生する。

【 0 0 4 8 】

ステップS 1 3においてAパックとVパック内の時刻情報が同一の場合に、Aパック又はDパックを再生すると共にAパックアドレス又はDパックアドレス（S C R情報）を1つインクリメントし（ステップS 1 5）、次いでそのC O N Tパックにより制御されるVパックを再生すると共にVパックアドレス（S C R情報）を1つインクリメントする（ステップS 1 6）。次いでそのAパック又はDパックの再生が終了したか否かをチェックし（ステップS 1 7）、終了していない場合にはステップS 1 8に進み、他方、終了した場合にはステップS 2 0に進む。

30

【 0 0 4 9 】

ステップS 1 8ではそのVパックの再生が終了したか否かをチェックし、終了していない場合にはステップS 1 3に戻り、他方、終了した場合にはステップS 1 9に進む。ステップS 1 9ではそのC O N Tパックにより制御される次のVパックを再生すると共にVパックアドレスを1つインクリメントし、ステップS 1 3に戻る。ステップS 2 0では次のAパック又はDパックを再生すると共にAパックアドレス又はDパックアドレスを1つインクリメントし、次いでVパックの再生が終了したか否かをチェックし（ステップS 2 1）、終了していない場合にはステップS 1 6に戻り、他方、終了した場合にはステップS 2 3に進む。

40

【 0 0 5 0 】

ステップS 2 3ではそのC O N Tパックにより制御される次のVパックを再生すると共にVパックアドレスを1つインクリメントし、次いでフレームの終了（E O F）が否かをチェックし（ステップS 2 4）、E O Fでない場合にはステップS 1 3に戻り、他方、E O Fの場合にはこのA - V - D同期再生処理を終了する。なお、C O N Tパックがないオーディオディスクの場合には、図1 5に示す同期は必要としない。

【 0 0 5 1 】

50

次に、図 16 を参照して文字表示回路 20、21 を詳細に説明する。D パック内の表示時間データは表示時間デコーダ 51 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 52 とエンドコンパレータ 53 に印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 54 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータはバッファ 55 に格納される。

【0052】

そして、スタートコンパレータ 52 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 55 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送ると共にディスプレイ 56 (21') に対して表示オンの制御信号を送る。また、エンドコンパレータ 53 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 51 に対して次の文字時間データを出力するためのタイミング信号を送ると共にディスプレイ 56 (21') に対して表示オフの制御信号を送る。

【0053】

図 17 は第 1 の実施形態の変形例として、図 12 の DVD 再生装置におけるビデオ処理部 27V が省略されて V パックを再生しないオーディオ専用再生装置を示している。この場合、再生信号処理分離手段 9、10、11、14 は、オーディオ信号出力手段 12、13 が出力中の A パックの表示を制御する D パックより前の D パック内の SEC 情報を先読みして SEC 記憶部 14B に格納する。なお、この変形例では、SEC 情報内の文字情報を表示手段 21 として平面マトリクスディスプレイ 21' に表示するように構成されている。

【0054】

図 18 は第 1 の実施形態の他の変形例として、ディスク 1 の最内周部のリードインエリア (図示 TOC 領域 1a) に追加して記録し、再生開始時には TOC 検出手段 24 がこの TOC 領域 1a を独立してアクセスして TOC 情報記憶部 14A を構成するメモリに記憶するオーディオ専用再生装置を示している。また、この構成では、図 8 に示す SEC パケット内にプロのミキサが推奨する音質で再生するためのオーディオ再生制御情報が記録されている場合、音質制御情報出力手段 31 と音質 / レベル制御処理手段 32 を設けてこの制御情報に基づいて音質を制御するように構成されている。

【0055】

なお、図 11 に示すように D パックが ACD と SEC に分離されている場合には、その識別手段を再生信号処理分離手段 9' に設けてその識別結果により、図 25 に示すように文字情報出力手段 20 と音質 / レベル制御情報出力 31 に分別して供給する。この場合、図 26 に示すような構成により、制御開始時間データと制御終了時間を用いてサウンドエフェクト制御を行うことができる。

【0056】

次に第 2 の実施形態について説明する。この第 2 の実施形態では第 1 の実施形態と同様に D パックを設けて、D パックの ACD パケットには図 9 (B) に示すように文字情報は配置されるが表示時間データは配置されない。そして、この表示時間データ (8 × 2 バイト) は図 7 に示す CONT パック内のデータサーチ情報 (DSI) の保留エリア (471 バイト) に配置される。

【0057】

次に第 3 の実施形態について説明する。この第 3 の実施形態では第 1 の実施形態と同様に D パックを設けて、D パックの ACD パケットには図 9 (B) に示すように文字情報は配置されるが表示時間データは配置されない。そして、この表示時間データ (8 × 2 バイト) と最大 52 バイトの表示時間データ以外の統括表示制御データが図 7 に示す CONT パック内のデータサーチ情報 (DSI) の保留エリア (471 バイト) に配置される。

【0058】

統括表示制御データとしては、一例として図 16 に示すディスプレイ 56 より画素数が大きな表示装置に表示するために、2 × 8 個の文字情報を合成して表示するための表示制御データとして 8 バイトの表示開始アドレス (ACD の表示開始アドレスに応じたアドレス

10

20

30

40

50

）と、同じく 8 バイトの分割数データが配置される。

【 0 0 5 9 】

図 1 9 はこの第 3 の実施形態のフォーマットの文字を表示するための文字表示回路を示し、表示時間デコーダ 5 1、スタートコンパレータ 5 2、エンドコンパレータ 5 3、文字デコーダ 5 4、バッファ 5 5 及びディスプレイ 5 6 は図 1 6 と同一の構成である。ここで、バッファ 5 5 及びディスプレイ 5 6 は図 1 0 に示すように、1 行当たり全角 1 5 文字（半角 3 1 文字）× 2 . 5 行の文字を表示可能に構成され、これを 1 セットとする。そして、ビデオディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a は図 2 0 に示すように 2 × 8 セット分の文字情報を記憶可能な容量を有する。

【 0 0 6 0 】

図 1 9 に示す文字表示装置は、1 セットの文字情報をディスプレイ 5 6 に表示する通常モードと、2 × 8 セットの文字情報を外部出力端子 1 5 " を介して外部の不図示の表示装置に表示させる特殊モードを有し、通常モードの動作は図 1 6 と略同一である。すなわち、通常モード時には C O N T パック内の表示時間データが表示時間デコーダ 5 1 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 5 2 とエンドコンパレータ 5 3 に印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 5 4 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータがバッファ 5 5 に格納される。

【 0 0 6 1 】

そして、スタートコンパレータ 5 2 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 5 5 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オンの制御信号を送る。また、エンドコンパレータ 5 3 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 5 1 に対して次の表示時間データを出力するためのタイミング信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オフの制御信号を送る。

【 0 0 6 2 】

他方、特殊モード時には D パック内の表示時間データが表示時間デコーダ 5 1 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 5 2 とエンドコンパレータ 5 3 に印加されるとともに、C P U 6 0 にも印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 5 4 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータがバッファ 5 5 に格納される。さらに、C O N T パック内の表示開始アドレス (A C D の表示開始アドレスに応じたアドレス) と分割数データは統括表示制御データデコーダ 5 8 によりデコードされて C P U 6 0 に印加される。

【 0 0 6 3 】

そして、スタートコンパレータ 5 2 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 5 5 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送り、また、エンドコンパレータ 5 3 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 5 1 に対して次のセットの表示時間データを出力するためのタイミング信号を送る。

【 0 0 6 4 】

そして、C P U 6 0 は統括表示制御データデコーダ 5 8 によりデコードされた各セットの表示開始アドレスと分割数データに基づいて、表示時間デコーダ 5 1 によりデコードされた各セットの表示開始時間データをチェックし、一致した時にディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a に対して 1 セット分の書き込みアドレスを指定する。

【 0 0 6 5 】

これにより、バッファ 5 5 から読み出された 1 セット分のドットマトリクスデータは、ビデオディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a に対して、C P U 6 0 により表示開始アドレスと分割数データに基づいて指定されたアドレスに書き込まれ、以下同様にして 1 6 セット分のドットマトリクスデータが V - R A M 5 9 a に書き込まれる。ビデオディスプレイプロセッサ 5 9 はこの 1 6 セット分のドットマトリクスデータを 1 画面のビデ

10

20

30

40

50

オ信号に展開し、このビデオ信号が外部出力端子 15 を介して外部の不図示の表示装置に出力される。

【 0 0 6 6 】

【 発明の効果 】

以上詳述したように本発明によれば、第 1 のオーディオパック内のオーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び文字情報の文字コードを指定するために設けられる文字セットコードデータを含む文字表示パックと、第 1 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む A M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し第 1 のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第 1 のファイル構造と、ビデオデータを含むビデオパックと、ビデオデータのオーディオデータを含む第 2 のオーディオパックと、ビデオパックと第 2 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む V M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有しビデオパックと第 2 のオーディオパックとを含むタイトルからなる第 2 のファイル構造とを記録する共に、M G I 管理エリアには前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する第 1 の情報に加え前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する第 2 の情報を記録することにより、ディスクに対して音楽ソースなどのオーディオデータを主として記録する場合に、それらの内容を示す文字情報を効率的に記録して再生、表示することができる。

10

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明に適用されるオーディオ信号のエンコード装置の一実施形態を示すブロック図である。

20

【 図 2 】 図 1 の信号処理回路を詳細に示すブロック図である。

【 図 3 】 本発明に適用されるディスクのフォーマットを示す説明図である。

【 図 4 】 図 3 のオーディオパックとビデオパックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【 図 5 】 図 3 のコントロール (C O N T) パックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【 図 6 】 図 5 の P C I データを詳しく示す説明図である。

【 図 7 】 図 5 のデータサーチ情報 (D S I) を詳しく示す説明図である。

【 図 8 】 図 3 のリアルタイム情報データ (D) パックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

30

【 図 9 】 図 8 のオーディオキャラクタディスプレイ (A C D) エリアのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【 図 1 0 】 図 9 のネームスペース情報により表示される例を示す説明図である。

【 図 1 1 】 図 3 のリアルタイム情報データ (D) パックの他のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【 図 1 2 】 本発明に適用されるディスク再生装置の一実施形態として D V D 再生装置を示すブロック図である。

【 図 1 3 】 図 1 2 の D V D 再生装置を機能的に示すブロック図である。

【 図 1 4 】 A - V - D 同期再生処理を説明するためのフローチャートである。

【 図 1 5 】 A - V - D 同期再生処理を説明するためのフローチャートである。

40

【 図 1 6 】 図 1 2 及び図 1 3 の文字表示回路を詳細に示すブロック図である。

【 図 1 7 】 図 1 3 の D V D 再生装置の変形例を示すブロック図である。

【 図 1 8 】 図 1 3 の D V D 再生装置の他の変形例を示すブロック図である。

【 図 1 9 】 第 3 の実施形態の文字表示回路を詳細に示すブロック図である。

【 図 2 0 】 図 1 9 の V - R A M の記録エリアを示す説明図である。

【 図 2 1 】 本発明に適用される D V D - A v d ディスクのデータ構造を示す説明図である。

【 図 2 2 】 本発明に適用される D V D オーディオディスクのデータ構造を示す説明図である。

【 図 2 3 】 従来の D V D ビデオディスクの構造を示す説明図である。

50

【図 2 4】図 2 2 ~ 図 2 4 に示すディスクの再生方法を示す説明図である。

【図 2 5】文字情報記録ディスクとサウンド制御記録ディスクの判別処理を示すフローチャートである。

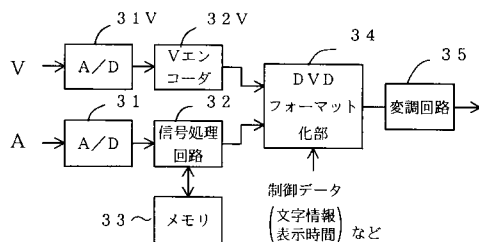
【図 2 6】サウンド制御回路を詳細に示すブロック図である。

【符号の説明】

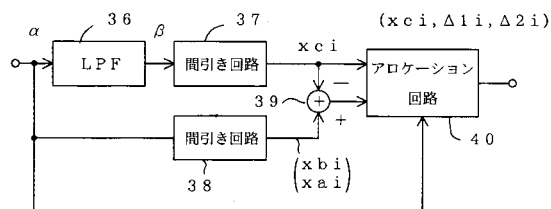
- 1 ディスク
- 2 再生手段
- 3 4 DVDフォーマット化部（フォーマット化手段）
- 5 1 表示時間デコーダ（第 2 のデコード手段）
- 5 2 スタートコンパレータ
- 5 3 エンドコンパレータ
- 5 4 文字データデコーダ（第 1 のデコード手段）
- 5 5 バッファ
- 5 6 ディスプレイ（スタートコンパレータ 5 2、エンドコンパレータ 5 3、バッファ 5 5 と共に文字情報表示手段を構成する）
- 5 8 統括表示制御データデコーダ（第 2 のデコード手段）
- 5 9 ビデオディスプレイプロセッサ（CPU 6 0 と共に文字情報表示手段を構成する）
- 6 0 CPU

10

【図 1】

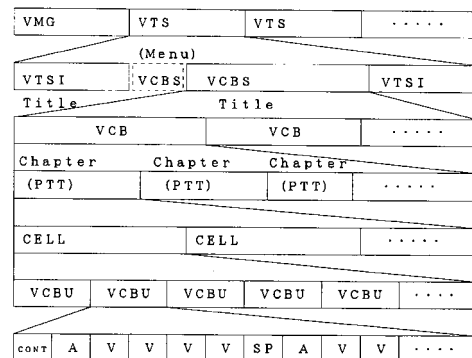


【図 2】

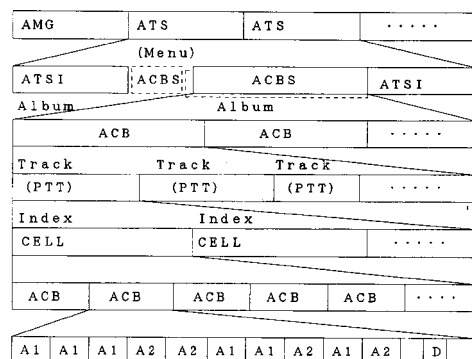


【図 3】

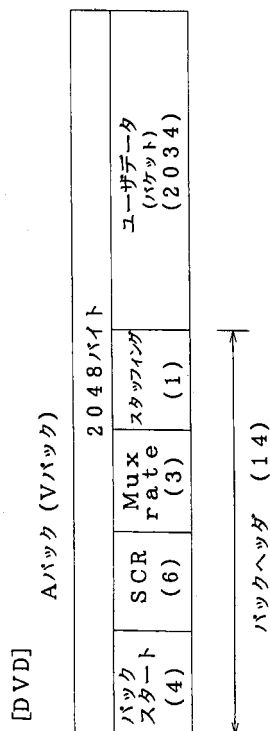
(a) DVD-ビデオ部



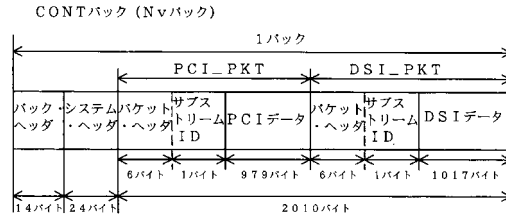
(b) DVD-オーディオ部



【図 4】



【図 5】



【図 6】

PCIデータ

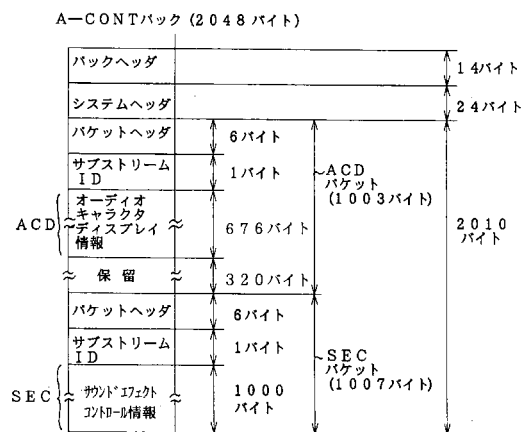
	内 容	バイト数
PCI_GI	PCI一般情報	60バイト
NSML_AGLI	非シームレス用アングル情報	36バイト
HLI	ハイライト情報	694バイト
RECI	記録情報	189バイト
合計		979バイト

【図 7】

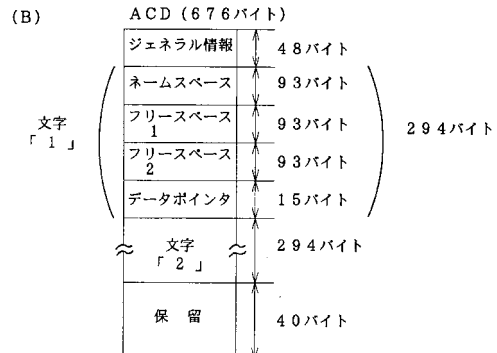
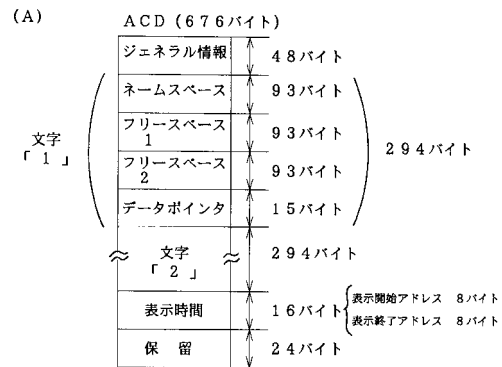
データ・サーチ情報 (DSI)

	内 容	バイト数
DSI_GI	DSI一般情報	32バイト
SML_PBI	シームレス再生情報	148バイト
SML_AGLI	シームレス用アングル情報	54バイト
VOBU_SRI	VOBUサーチ情報	168バイト
SYNCI	同期情報	144バイト
保 留	保 留	471バイト
合計		1017バイト

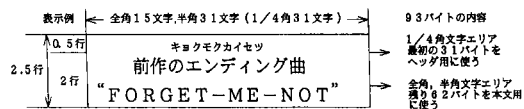
【図 8】



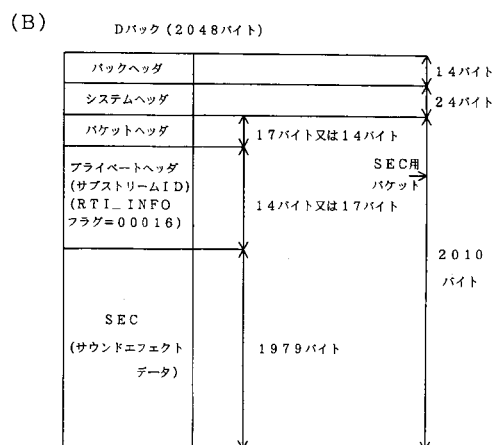
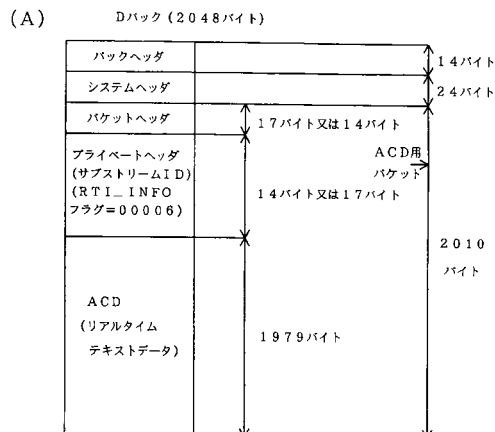
【図 9】



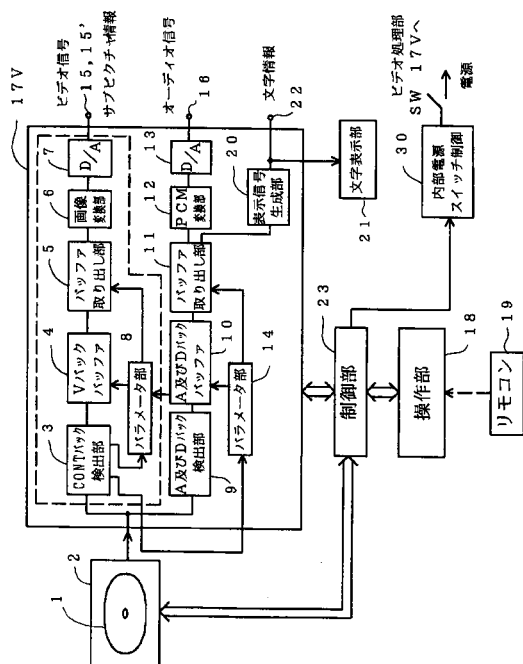
【 図 1 0 】



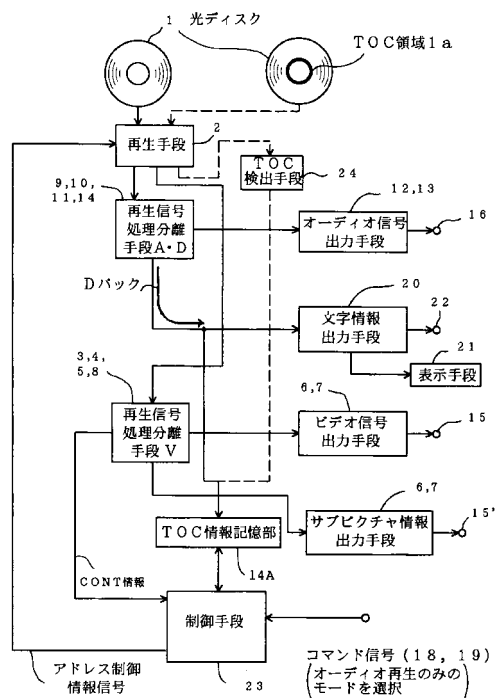
【 図 1 1 】



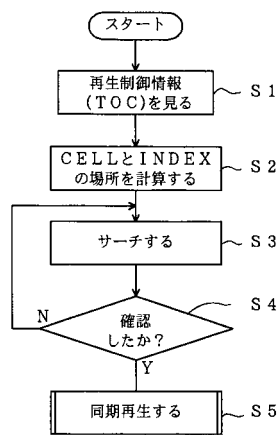
【 図 1 2 】



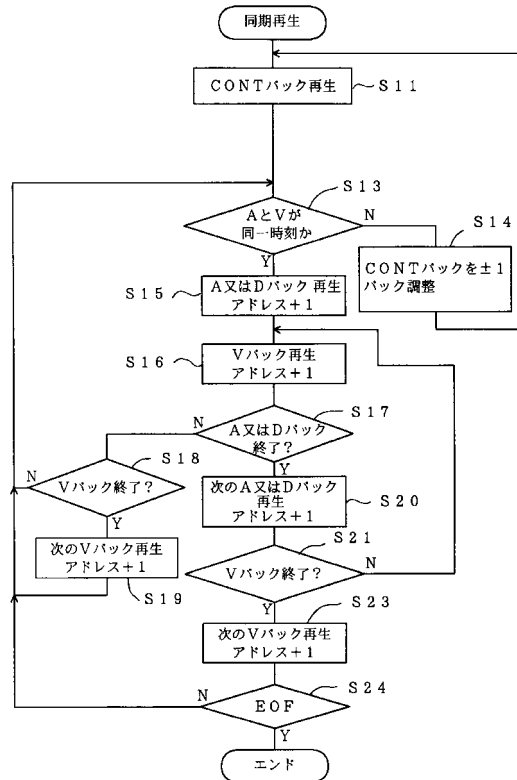
【 図 1 3 】



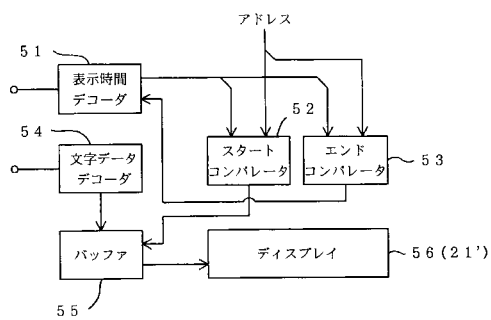
【図14】



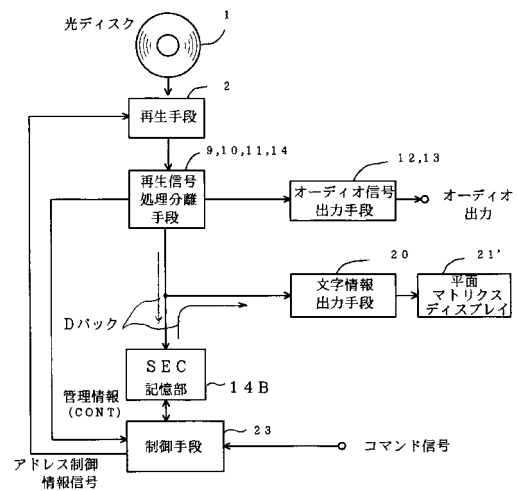
【図15】



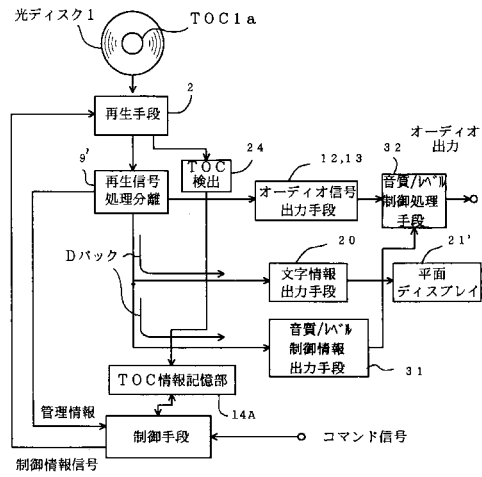
【図16】



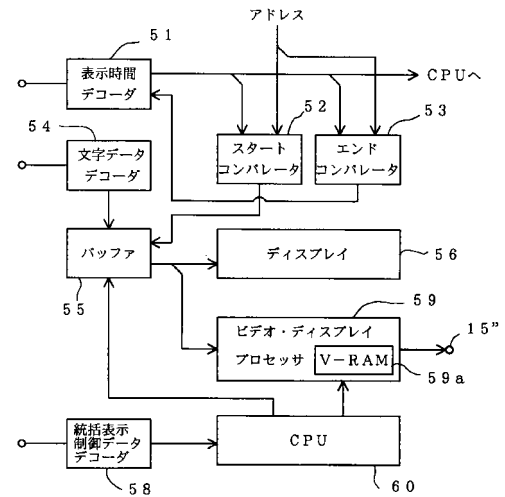
【図17】



【図 18】



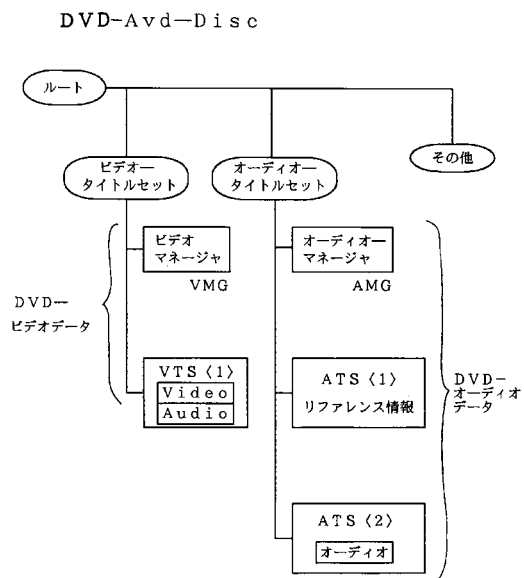
【図 19】



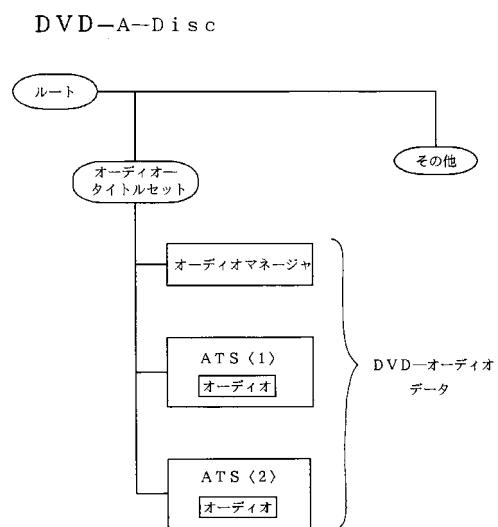
【図 20】



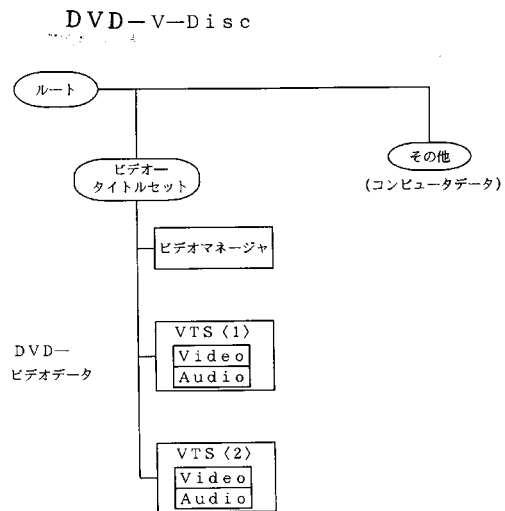
【図 21】



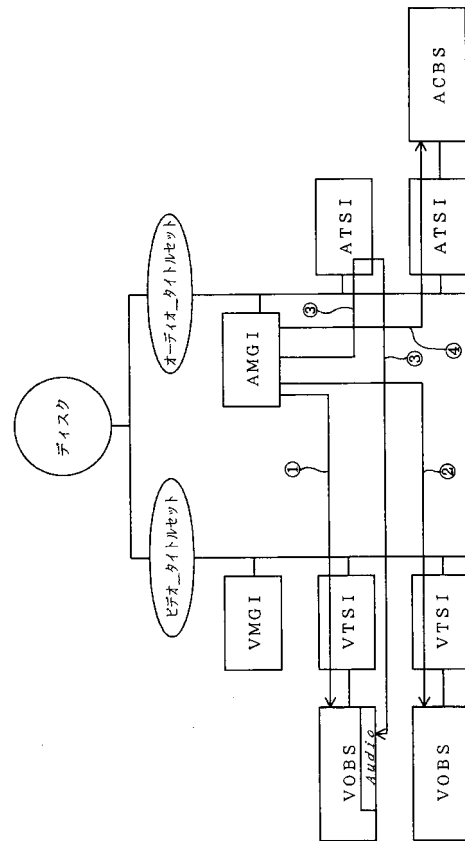
【図 22】



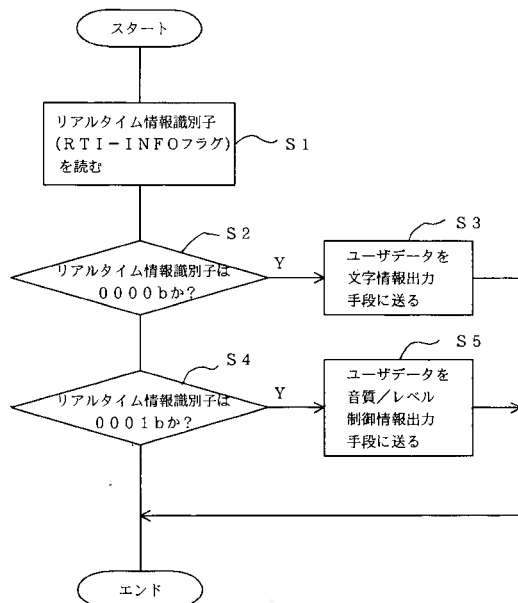
【図 23】



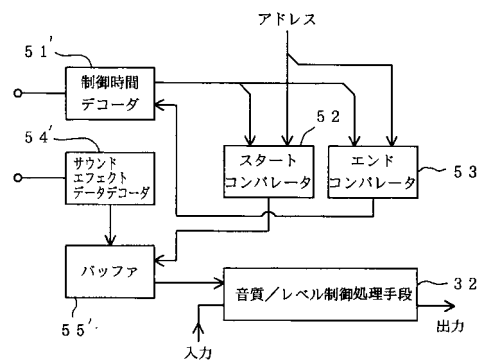
【図 24】



【図 25】



【図 26】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平09-231726(JP,A)
国際公開第97/13361(WO,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷,DB名)

G11B 20/10

G11B 27/00

H04N 5/92